

VOL.07 CONTENTS

1p.ガバナーコラム 1p.地区行事 2p.世界平和フェロー募集要項 3p.国際親善奨学生募集要項 4p~5p.ガバナー公式訪問日より
6p.ライラセミナーに参加して 6p.WCSタイ訪問記 7p.出席報告 8p.新入会員紹介他 8p.ロータリー文庫・諸事ご案内



GOVERNOR'S COLUMN
ガバナーこ・ら・む

新年おめでとうございます。

2009年の世相を表す漢字は「新」でした。米国でも日本でも政権交代があり、インフルエンザも新型が流行・・・そして当地区も初めて地区大会を秋に開催しました。これも「新」でしょう。新年を迎えた今年こそ自分自身を「新」にしようではありませんか。

芭蕉の「月日は百代の过客にして行き交う人々もまた旅人なり」という言葉を思い出すまでもなく、今日という日は過ぎれば再び戻るものではありません。

県内50クラブあるとそのクラブに歴史が出来、毎年の様に周年記念が行われます。アングロサクソン人の作っ

たロータリーは、クォーターを大切にします。25周年、50周年、75周年・・・ですが、私たちはちょっと違いますね。日本人の家や商売で、はじめとされる年は実は30年です。古くからの家の歴史を調べてみると30年を上手に引き継いだところが、5代目、10代目として存在しているのです。人生の中で、一番力を出せるのはそれぞれに長さはあっても 通算すればサラリーマンの方々と同じような年月になります。

三代目が良くできない・・・と言われますが、三代目というのは百年の歴史ということです。

・・・かくいう私も三代目(笑)

ロータリーインターナショナルも百年を過ぎたわけですから、今を迎えているロータリアンがしっかりしなければなりません。

百周年を迎えた当時のRI会長グレン・エステス氏は、「百年を祝おう」とRIテーマを出されましたが、これは百年に当たって「温故知新」ロータリーの歴史を調べてください。そして現実を知り、将来どうあるべきかを考えられた時に初めて祝いましょう。ということでした。

いま、「ロータリーよ おまえはどこに行く」と言われるようになりました。

ロータリー創設の年に返れと言われ始めました。

そうです！「**ロータリーの未来はあなたの手の中に**」あることを改めて考えていきましょう。

2010年1月～2月地区内行事

月	日	曜日	行 事	場 所
1	12	火	第6グループ IM	サンルートプラザ栃木
1	17	日	2010年 ロータリー米山記念奨学会選考試験	宇・ホテルニューイタヤ
1	18~25		国際協議会(瀬下ガバナーエレクト)	米国・サンディエゴ
1	31	日	第3回地区諮問委員会	宇・グランドホテル
2	6	土	第2回地区運営委員会 PM 13:00~	宇・グランドホテル
2	6	土	第2回 会長・幹事会 PM14:30 登録	宇・グランドホテル
2	7	日	佐野ロータリー・クラブ 50周年記念式典	ホテルサンルート佐野
2	7	日	1年交換派遣・来日学生オリエンテーション	栃木・サンプラザ
2	14	日	ロータリー米山記念奨学会 歓送迎会	宇・ホテルニューイタヤ
2	20	土	第3グループ A・B IM	宇都宮グランドホテル
2	20	土	第7グループ IM	日光金谷ホテル
2	20	土	第8グループ IM	足利プリオパレス
2	21	日	第1グループ IM	大田原・岩井屋
2	21	日	第5グループ IM	小山・和田屋新館
2	28	日	第2グループ IM	烏山城カントリークラブ

ライラセミナーに参加して良かった！感動した！ これが受講生の共通の言葉です。

受講生の感想文を是非読んでください！！



新世代プロジェクト

RYLA委員会委員長 橋本 義彦 (足利RC)

第33回RYLAセミナーを平成21年11月21日～24日2泊3日の日程でウエルサンピア栃木（鹿沼市）に於いて開催致しました。

森 玄房ガバナー、瀬下龍夫ガバナーエレクトご臨席の元、講師には木村 寛 宇都宮大学教授をお招きし、また各クラブ、地区委員の皆様にもご参加を頂き無事成功裏に終わらせて頂きました。

今回のセミナー受講生は18才～30才を対象としたセミナーで、一般勤労者8名（会計事務所、介護施設、幼稚園等）、米山奨学生7名（宇都宮大学、作新学院大学、帝京大学、足利工業大学、国際医療福祉大学等の台湾、中国、マレーシア、ミクロネシア出身の学部生、院生）ロータリアン22名（宿泊者8名）の参加で開催されました。

初日の開講式では初めての出会いの人達ばかりで、点鐘から始まり国歌、ロータリーソングと順次進むと、皆、何事が始まるかと不安の様子。しかし瀬下ガバナーエレクトの挨拶、ロータリーの説明等を聞いているうちに、やや不安感も解消されたようでした。講師の木村 寛教授のゼミ生によるランダムに選んだグループ（ロータリアンも参加）ごとのディスカッションや、体を動かすセッションに入ると、僅か10分足らずの時間で、心が開け、笑顔、会話がどんどん出て楽しいステージが醸し出され狙い通りの雰囲気になりました。

ロータリアンも入っての年齢、国籍関係なく同じ目線での会話、また利害関係もない人達の集いでもあるので自分の意見もフリーに述べられ、また他人の話も良く聞きかなり精神的満足度も得られたようです。

グループに分かれてのセッションでは、「リーダーをテーマ（何故自己紹介が必要？等々）ごとに変えて、グループの意見を纏め皆の前で発表する」このようなセッションを繰り返し行う内に引っ込み思案だった人も自信を持つようになり、今までに無かった自分を発見した受講生もいました。

朝7時30分からの散歩・ラジオ体操から始まり昼間の種々のセッション。夜の各グループによる友情の集い等夜11時の消灯まで時間が短いくらいの2泊3日のセミナーでしたが、将来の指導者と成るに足るふさわしい育成セミナーであったと思います。その成果は各クラブに配布させて頂いた受講生感想文を読んで頂ければお分かりに成られるかと思います。受講生全員が感動して帰りました。今度、是非多くのロータリアンも参加経験（宿泊）して頂けたらと願います。

ライラセミナーも3月（高校生）、11月（18才～30才）の年度2回のRI常設プログラムとして開催するわけですが毎回参加受講生数には苦勞します。特に11月（大人）のセミナーは苦勞です。

折角の感動を得られるセミナーです。2550地区各グループから3人以上の受講生を出していただければ30人以上の受講者が参加することになり、ロータリアンの参加を含め約100人からのセミナーとして大変充実した有意義な青少年指導者育成セミナーになります。是非皆様のご協力を切にお願いする次第です。

最後に看板、写真、冊子の作成等スタッフが手作りで仕上げた今回のセミナーにご協力を頂いた皆様に心から感謝いたします。





国際親善奨学金プログラムは、国際ロータリーの目的である国際理解と世界平和の推進を国際親善奨学生の派遣を通して支援するものです。男女年齢を問わず、ロータリー・クラブが存在する他国での留学を希望する者に支給されます。

奨学生は、留学国では親善使節としての役割が期待されますが、派遣国（日本）及び受入国（留学国）のロータリー・メンバーが奨学生のカウンセラーとなり、留學生活が安心して送れるよう、オリエンテーションや助言を与えサポートします。

今回募集の対象留學期間（奨學年度）は、2011年7月1日以降に始まります。

1. 募集奨学金の種類

1学年度国際親善奨学金：申請者が希望し、ロータリー財団管理委員会が承認した教育機関における1学年度（通常9ヶ月間）留學の為の奨学金。

2. 一般的資格条件

- (1) 最低2カ年の総合大学または単科大学の大学課程を修了していること。又は、高校を卒業した後、2カ年間以上当該の専門職業に従事していること。
- (2) 日本人で、栃木県内の、全日制教育機関の学生、勤務者、居住者、本籍所有者。
- (3) 国際ロータリーが定める語学試験に合格すること。

注：ロータリー関係者及びその配偶者、直系卑属等は応募資格無し。

3. 奨学金額及び奨学金で賄われる費用

- (1) 日本・留学国間往復旅費、通常の授業料、留学国での通常の生活費等。
- (2) 奨学金額 1学年度国際親善奨学金：US\$26,000

4. 申請・選考方法

- (1) 申請手続き：申請者の本籍、居住地、勤務先等、最寄りのロータリー・クラブから推薦を受け（推薦取得の為、クラブでの面接等の手続きが必要）、同クラブを通して申請すること。
- (2) 地区申請締切日：2010年4月20日（必着）
- (3) 選考方法：地区選考試験（書類審査、筆記・面接試験等2010年6月上旬予定）実施の上、国際ロータリー・ロータリー財団にて最終決定（2010年12月中旬頃）する。

5. 申請書請求及び国際親善奨学金の詳細については、下記ホームページをご確認下さい。

申請用紙もホームページよりをダウンロードし、プリントアウトをしてご利用下さい。

<http://rotary.org/ja/Pages/ridefault.aspx> → 学生と青少年 → 国際親善奨学金

6. 問合せ

氏名・申請資格・希望留学国・奨学金種類、連絡先（TEL、FAX、Email、携帯TEL、住所等）、及び受験言語（英語、仏、独、伊等）を明記し、下記宛FAX又はE-mailにて連絡する事。

* 受験言語を必ず明記して下さい。（試験準備手配のため）

7. 申請書送付先

国際ロータリー第2550地区国際親善奨学金委員会：喜谷 辰夫
〒321-0194 宇都宮市上横田町798 トヨタカローラ栃木株式会社内
FAX：028-659-4115・TEL：028-658-2221
E-mail：kidani1724@corolla-tochigi.co.jp

ロータリー世界平和フェローシップは、平和および紛争解決の分野における、国際問題研究のためのロータリー・センター提携大学（7地域8校）において、国際関係、行政学、持続可能な開発、平和研究、紛争解決をはじめこれらに関連する分野の修士号取得、または平和と紛争解決における専門能力開発プログラムの終了証を取得するプログラムです。ロータリー世界平和フェローは、生涯、仕事や奉仕活動を通じて国内外の協力、平和、紛争解決を推進する指導者となるよう期待されますが、派遣国（日本）及び受入国（留学国）のロータリー・メンバーがカウンセラーとなり、留学生活が安心して送れるようサポートします。

1. ロータリー・センター提携大学と留学期間：※詳しくはロータリー・ウェブサイト参照の事

- | | |
|--|-----------|
| (1) チュラロンコン大学：タイ、バンコック | 3ヶ月プログラム |
| (2) デューク大学：米国ノースカロライナ州ダラム及びノースカロライナ大学
チャペルヒル校：米国ノースカロライナ州チャペルヒル | 21ヶ月プログラム |
| (3) 国際基督教大学：東京都 | 21ヶ月プログラム |
| (4) サルバドル大学：アルゼンチン、ブエノスアイレス | 18ヶ月プログラム |
| (5) ブラッドフォード大学：イングランド、ウエスト・ヨークシャー | 15ヶ月プログラム |
| (6) クイーンズランド大学：オーストラリア、クイーンズランド州ブリスベン | 16ヶ月プログラム |

2. 一般的資格条件

- (1) 大学（またはこれに相当する高等教育機関）から学士号を取得している（4年生教育課程）
 - (2) ロータリー・センター提携大学の修士課程プログラムで必要とされている関連分野において合計最低3年間のフルタイムの職務経験（有給又は無給）を有していること
 - (3) 2ヶ国語以上の言語に堪能であること（各校ごとに言語に関する必要条件あり）
 - (4) 優れた率先指導力を備えているとともに、職業や学業における業績や、個人的活動および社会奉仕活動を通じて、国際理解と平和に対する熱意を示していること
- 注：ロータリー関係者及びその配偶者、直系卑属等は応募資格無し。（退会後3年間は資格無し）

3. フェローシップ資金で賄われる費用

- (1) 最高2学年度分及び実地体験の資金。（留学先によって異なります。約\$60,000程度）
- (2) 内容：学費・授業料、標準的な宿泊費・食費、交通費、雑費、実地体験資金。

4. 申請・選考方法

- (1) 申請手続き：申請者の本籍、居住地、勤務先等の最寄のロータリー・クラブの推薦を受け（クラブでの面接等が必要です）、同クラブを通して申請すること。
- (2) 地区申請締切日：2010年3月31日（必着）
- (3) 選考方法：地区選考試験（書類審査、筆記・面接試験等2010年4月末頃）を実施し、7月1日までに国際ロータリー財団に申請。最終決定（2010年10月頃）

5. 申請書

http://www.rotary.org/RIdocuments/en_pdf//083en.pdf（日本語版はen→ja）

6. 問合せ

地区ガバナー事務所及び3頁の「国際ロータリー第2550地区 国際親善奨学生 募集要項」を参照

Report

2009年11月『WCSタイ訪問記（18日から23日）』 増山 恭子（しもつけRC幹事）

新型インフルエンザの蔓延する中、しもつけRCの命知らずのメンバー10名と家族4名は罹患したらどうしようという一抹の不安を抱えながらタイ国へと向かった。2005年から我がクラブは国際RC提唱の水問題に取り組みタイとの交流を続けている。今回は、タイの教育委員会に現地の要望を伺って頂いた所、我らの国際奉仕の理念と合致した為に今回の事業（識字率向上の事業）を挙行することと相成った訳だ。タイ国周辺のシンガポールやマレーシアに比べタイ国の経済事情が劣る原因は何か、それは、英語力に依ると。そこで今回の事業は、世界の11RCに名を連ねてももつけRCも《タイ英辞典》6万冊寄贈の協力者となった。思えば現地の要望と正にマッチしたタイミングの良い事業。タイ北部のメホンソン4地区の58校、およそ700人の中高生1人1人にその辞書を参加者皆で手渡した。副知事様の見守る中、生徒達の何ともいえないような嬉しそうな顔が印象的で我々の疲れをいやしてくれた。なんとメホンソンという所は、チェンマイから空路で行くならたった25分の所だが、観光シーズンで飛行機のチケットが取れずに我々は、バスでの旅程となった。奥深いメホンソンの幾重にも連なる山々、いろは坂なみ（以上）のヘアピンカーブの連続。後で聞けば何と250キロで2,274カーブもあったという。（あとで行程征服証明書を授与された程だ）行けども行けども着かないおよそ6時間のバスの旅、カー・シック（車酔い）のメンバーの面々の顔を想像して欲しい。「これは修行だ。」と案内役まで弱音を吐いた程だ。薬はなんと言っても友好懇親会にあった。トンプリRCとメホンソンRCのご接待に、さっきまでの青白い顔の面々もすっかり元気を取り戻し、次第に慣れてきたタイ料理に舌鼓。タイの音楽とダンスに誘われ皆でアロハオエというか盆踊り状態。カラオケには吃驚した。日本の歌があったことも驚きだが歌詞がなんとローマ字とタイ文字に愕然。（当然か！でも、上手く歌えなかった事が悔しい。）タイの象は、上手に絵を描くし（それも一頭二頭じゃなくて6頭位いたかなあ）、猿も芸達者。色々なお寺にもお詣りし、楽しかったタイの思い出満載の訪問に終止符。良い思い出が残る中、ただひとつ首長族の土産店で我ら値切りながら買い物をしていたが、その店の横には、3兄弟なのか、薄汚れた服をまとい、裸足で、はなたれ小僧達の鋭いまんまるい眠が光っていた。その光景が、何だか記憶から消せなくて苦しい、、、。



WCS



2009.11.20



ガバナー公式訪問だより



日光ロータリー・クラブ

日時:2009年9月17日(木)
会場:日光金谷ホテル



会長:野本晃也 幹事:岡崎彰廣 会員数:26名

例会後は記念撮影をして、直ちに炉辺会議の形でクラブ協議会に入り、加藤職業奉仕、高井クラブ奉仕、伴社会奉仕(代理大久保会計)、神林米山奨学会、相良ロータリー財団(代理野本会長)各委員長の順で、活動実績報告と事業計画説明を行いました。報告後、森玄房ガバナーより総評を戴き、三ツ山ガバナー補佐からも、ガバナーのお話の中から新たなロータリーの方向性を感じ取って欲しいとの言葉を頂戴し、有意義な公式訪問が終了した次第であります。

9月17日に日光金谷ホテルに、森玄房ガバナーを公式訪問としてお迎えしました。着後しばし休憩の後、3階会議室で森玄房ガバナーを囲んで、早速懇談会を開催しました。先ず野本会長より、現況報告書と参考資料日光ロータリー・クラブ創立50周年記念誌を中心に、クラブの実績報告と今年度事業計画の説明がなされ、これに基づいて森玄房ガバナーより、懇切なる講評と指導がありました。

続いて12時30分より例会場に、森玄房ガバナーを拍手でお迎えして例会を開会しました。点鐘後、野本会長より歓迎挨拶とゲストの紹介があり、パナーの交換を行ってから、森玄房ガバナーの卓話を頂戴した次第であります。お話の中ではサンディエゴでの研修を通して得た、国際ロータリーの諸問題や、職業奉仕活動こそロータリーの原点であると言う理念の説明があり、会員一同真剣に拝聴致しました。

又、忠恕(ちゆうじょ)なる言葉を示されて、忠とは己に背かぬこと、恕とは相手を思いやる心で、己の欲せざる事を他に施すなかれと、経世の道を説かれて会員に深い感銘を与えられました。

栃木南ロータリー・クラブ

日時:2009年9月24日(木)
会場:サンプラザ



会長:福島一男 幹事:館野 功 会員数:33名

まず隣あり」人格者は一人ぼっちではない。必ずその人格にひかれ、それを仰ぎそれに共鳴する人がいる。今一度なぜ私たちはロータリアンなのかを考えましょう。と卓話されました。その後クラブ協議会に入り当クラブの活動目標を各委員長が説明をして、森ガバナーから講評をいただきました。この公式訪問を今後の活動に生かしていきます。ご指導ありがとうございました。

当クラブの公式訪問はシルバーウィークあけの9月24日に森玄房ガバナーをお迎えして行ないました。午前中に正副会長・幹事との懇談会をもち、ガバナーから現況報告にクラブの今までの表彰記録を載せるよう助言をいただきました。これは新入会員にとってクラブの歴史を理解することができ、また会員増強にもつながることです。

例会では福島会長の挨拶に今年は職業奉仕をメインに活動している報告がありました。次にガバナーからの卓話では、アメリカでのガバナー研修で感動したこととして、ジョン・ケニーRI会長のスピーチでの「ロータリーの未来はRIの本部にあるのではなく、個々のロータリークラブによって作られる。」ロータリアン一人ひとりの日頃の行動が大切である。そしてロータリーの基本は職業奉仕であること。ここ数年職業倫理の欠如した会員がロータリーの質を下げってしまった。ロータリーの原点に戻って考えること。論語の中に「忠恕」と「徳は孤にならず、必



小山東ロータリー・クラブ

日時:2009年9月25日(金)

会場:和田屋新館



会長:鈴木廣明 幹事:荒川政昭 会員数:35名

ガバナーの卓話には、会員一同緊張しておりましたが、ユーモアやウイットにとんだお話に皆うちとけあって、爆笑もでる和やかなふいん気でありました。

クラブ協議会では、各常任委員長より活発な質疑がありましたが、親切丁寧にお答えをいただきまして心に残るガバナー公式訪問を経験させていただきました。

9月25日(金)和田屋新館において、小山東ロータリー・クラブへの公式訪問が行われました。

早速、森ガバナーを囲み懇談会を開催いたしました。現況報告書については、年間の行事が詳細に書かれており大変結構であるとのこと褒めをいただきました。各ロータリー・クラブの共通の問題点である、会員増強や出席率向上等については、永年のロータリアンの経験としてのアドバイスをいただき、今後のクラブ運営について大変参考になる御指導でした。RIへの運営方針についての御意見等も拝聴して、ガバナーを身近に感じさせていただき素晴らしい時間を共有させていただきました。

記念写真撮影後、通常例会にはいり最初の森玄房

栃木西ロータリー・クラブ

日時:2009年9月29日(火)

会場:ホテルサンルートプラザ栃木



会長:久嶋柳次 幹事:石塚道徳 会員数:39名

次に、クラブ協議会が開かれました。森ガバナーと親しく話す年一回の機会でありますので、活発な意見交換がなされました。中心的議題は会員増強でした、会員から「一業種一人で、業界のリーダーとしての自覚をもって入会しました。今は一業種5人までと同じ地域に何人ものリーダーがいては首位の所在が不明確となり、無責任なりましょう。その意味で人数を増やせばよいものと思われませんか・・・」森ガバナーも全く同意見というお言葉でしたが、今後クラブそのものの組織、活動を含めて大きな問題と感じながら、公式訪問は終わりました。

森玄房ガバナー、瀬下龍夫ガバナー補佐、伊東永峯地区幹事をお迎えしました。

午前は予め提出した報告書に基づき、クラブの目標、事業報告と地区に対する意見を中心に懇談しました。懇談では、今日、RIと日本ロータリーとのギャップが話題になり、国際的奉仕も必要ですが、今、地域に形が見える活動が求められています。一つの例として、森玄房ガバナーが常々話されている、人口妊娠中絶率の高さ、エイズ、自殺予防の問題について、地区が音頭をとって、地区全体で啓発活動をしてはどうか等が話し合われました。

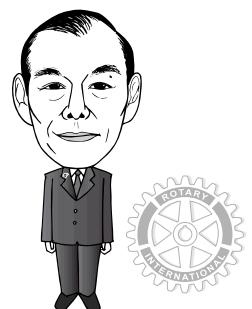
午後は、森玄房ガバナーの力強いお話で、今後のクラブ活動について多くの示唆を頂きました。「クラブは自治権を持たなければならない。」「地区のクラブに対する支援の在り方」「会員数減少と予算のスリム化」「会員の平素の尊厳と誠意の実践の活動」「ロータリーの楽しさ。」特に印象を持ちました。

国際ロータリー第2550地区 11月会員数・出席報告

区分	クラブ名	出席率			会員数							
		例会数	今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第1グループ	大田原	4	82.00	85.35	39	40	0	1	2	1	1	2
	黒磯	4	98.30	99.44	45	45	0	0	0	0	0	2
	西那須野	3	97.44	98.51	43	43	0	0	0	0	0	0
	黒羽	4	95.83	96.68	17	18	0	0	1	0	1	1
	那須	4	82.35	82.03	18	17	0	0	0	1	-1	2
	塩原	4	75.00	78.23	10	10	0	0	0	0	0	0
	大田原中央	4	82.13	83.44	20	23	0	0	3	0	3	1
第2グループ	烏山	3	85.71	80.56	15	14	0	0	0	1	-1	1
	氏家	4	87.50	89.32	25	25	0	0	0	0	0	0
	矢板	4	79.00	78.18	31	31	0	0	0	0	0	5
	馬頭小川	4	85.00	85.28	21	22	0	0	1	0	1	0
	高根沢	3	66.60	67.84	19	18	0	0	0	1	-1	0
第3グループA	宇都宮	3	69.80	72.34	96	98	1	2	5	3	2	0
	宇都宮西	4	94.64	95.39	65	66	2	1	3	2	1	0
	宇都宮北	4	71.34	78.18	50	50	0	0	0	0	0	0
	宇都宮90	4	89.75	91.46	39	39	0	0	0	0	0	5
	宇都宮陽北	3	74.51	74.20	35	36	0	0	1	0	1	4
第3グループB	宇都宮東	3	92.90	92.81	92	95	0	0	3	0	3	0
	宇都宮南	4	76.22	82.07	51	51	0	0	1	1	0	0
	宇都宮陽東	4	61.90	73.85	42	46	0	0	6	2	4	0
	宇都宮陽南	3	98.30	81.84	25	25	0	0	0	0	0	4
第4グループ	真岡	4	92.72	93.46	49	50	0	0	1	0	1	0
	益子	5	88.00	92.04	32	33	0	0	1	0	1	0
	真岡西	3	98.30	91.83	41	41	0	0	0	0	0	7
	しもつけ	4	96.96	95.93	33	33	0	0	0	0	0	9
第5グループ	小山	4	88.65	96.14	45	46	0	1	2	1	1	0
	小山南	3	96.49	95.58	19	19	0	0	1	1	0	2
	小山東	4	97.14	93.26	35	35	0	0	0	0	0	0
	小山北	4	79.17	81.99	23	24	0	0	3	2	1	0
	小山中央	4	73.96	77.78	24	24	0	0	0	0	0	1
第6グループ	栃木	4	81.80	80.70	42	44	0	0	2	0	2	0
	栃木西	3	78.24	85.09	39	39	0	0	0	0	0	0
	壬生	3	78.93	77.18	17	19	0	0	2	0	2	3
	栃木南	4	83.90	83.88	32	33	0	0	1	0	1	5
第7グループ	日光	3	71.77	75.63	27	26	0	0	0	1	-1	5
	鹿沼	4	86.94	89.14	67	67	0	0	0	0	0	1
	今市	5	91.22	91.56	41	41	0	0	0	0	0	0
	鹿沼東	4	98.03	95.15	43	45	1	0	2	0	2	2
	粟野西方	4	98.00	93.30	13	13	0	0	0	0	0	1
	鹿沼中央	3	84.52	86.95	25	28	0	0	3	0	3	2
	今市きぬ	3	95.40	94.43	29	29	0	0	0	0	0	1
第8グループ	足利	4	73.70	80.58	42	43	0	0	1	0	1	0
	足利東	3	76.10	75.37	56	60	0	0	4	0	4	8
	足利西	4	71.13	76.39	13	13	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	4	96.55	94.68	31	31	0	0	0	0	0	0
第9グループ	佐野	3	92.70	92.91	58	60	0	0	2	0	2	0
	葛生	3	92.50	91.24	39	40	0	0	1	0	1	0
	田沼	4	93.54	93.91	36	36	0	0	0	0	0	0
	佐野東	4	84.09	85.97	22	22	0	0	1	1	0	0
	岩舟	4	86.60	91.59	23	23	0	0	0	0	0	1
50RC		85.47	86.41	1794	1829	4	5	53	18	35	75	

ガバナー月信委員会よりお願い

ガバナー月信委員会では地区の皆様方の投稿原稿をお待ちしています。
 今まで行なったクラブの活動報告や今後の活動PRなど、地区皆様にお知らせしたい記事がございましたらをぜひお寄せ下さい。
 「月信」にて掲載いたします。詳しくはガバナー事務所へお問合せ下さい。



第2550地区 新入会員紹介



うがじん かんいち
宇賀神 寛一
(鹿沼中央RC)
平成21年8月4日入会
(株)大張
代表取締役

各方面からの経験・アドバイスを教えて頂きたいと思っております。



さいとう てるお
齋藤 照男
(鹿沼中央RC)
平成21年8月4日入会
(有)ペトラ美装
代表取締役

人格と識見を高め明るく健全な地域社会づくりに努めたいと思っております。



いわもと ふみお
岩本文雄
(鹿沼中央RC)
平成21年9月1日入会
岩本農園
代表

尊敬する人達ばかりで視野を広げたいと思っております。



こばやしゆういち
小林 勇一
(馬頭小川IRC)
平成21年9月9日入会
(有)小林工務店
代表取締役

よろしくお願ひします。



いそがき みつる
磯貝 充
(佐野東RC)
平成21年10月7日入会
(有)磯貝商事
代表取締役

よろしくお願ひします。



みはら やすし
三原 靖
(宇都宮RC)
平成21年11月25日入会
(株)荒井設計
代表取締役専務

よろしくお願ひします。

祝・今市ロータリー・クラブ創立50周年

Anniversary

11月29日の日曜日、晩秋の晴天の中鬼怒川温泉ホテルにて、今市ロータリー・クラブの50周年記念式典が挙行されました。

森ガバナー、日光市長をはじめ多くのご来賓の皆様と、来訪ロータリークラブの皆様、そして姉妹クラブ25周年を迎えた、台湾北港扶輪社の会員とご家族のご臨席を賜り、50年の歴史を刻んだゴングの点鐘で開式されました。この日を迎えるにあたり、約5ヶ月間50周年実行委員会で検討を重ねた事は、会員一人一人がクラブの50年の歴史を共有する事に繋がり、これからの50年を刻む原動力になったと感じました。

式典では、石塚会長の歓迎のご挨拶と、伊藤実行委員長の50周年のご挨拶の後、ご来賓のご祝辞を賜り、今市ロータリー・クラブ創立時のスポンサークラブであります、宇都宮ロータリー・クラブの久保井会長に感謝状と記念品の贈呈をさせて頂き、50年の感謝の気持ちを申し上げます。又、記念事業として、日光市にAEDを3台寄贈し、目録をご来賓の斎藤日光市長にお渡しいたしました。式典の後、HSBC香港上海銀行横浜支店の鷹谷様に、同会場にてご講演を賜り、懇親会に移らせて頂きました。

懇親会では、第7グループの三ツ山ガバナー補佐にご挨拶を賜り、堀井パスト会長の乾杯の音頭で祝宴が始まりました。和やかな雰囲気の中、民謡と楽器の融合する、「ブリューゲル」の皆様による歌と演奏が始まり、お祝いに花を添えて頂く事が出来ました。

式典、講演会、懇親会と、長時間にも関わらずご臨席いただきましたご来賓の皆様をはじめ、来訪ロータリー・クラブの皆様には、深く感謝申し上げます。この度の50周年を新たなスタートとして、「超私の奉仕」を胸に、今市ロータリー・クラブの新たな50年の歴史を刻んで参りたいと思っております。



クラブ例会場
変更のお知らせ

●足利西ロータリー・クラブ (1月1日(金)より変更)

新例会場/『二の宮』〒326-0143 足利市葉鹿町299 電話/0284-62-0103

文庫通信

「ロータリー文庫」はロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介も承っておりますので、ぜひご活用下さい。

- | | | |
|------------------------------|-------|----------------------------|
| 「奉仕理念の提唱者 アーサー・フレデリック・シェルドン」 | 田中 毅 | 2009 22P (D.2580) |
| 「職業奉仕における個人と職業の倫理」 | 深川 純一 | 2009 19P (D.2580) |
| 「『ロータリーの心もとめ』より」 | 海田 司 | 2009 4P |
| 「国際ロータリーのビルダー」 | 塚原 房樹 | 2009 3P (私の“Rotary Notes”) |
| 「井坂孝の説いた職業倫理を踏襲して」 | 鈴木 清次 | 2009 8P (井坂孝の足跡) |
| 「職業奉仕に誇りを!!」 | 村上 有司 | 2009 1P (D.2640) |
| 「職業奉仕について」 | 原田實太郎 | 2009 4P (D.2730) |
| 「ロータリアンは同業者・業界でもっと積極的行動を」 | 竹中 秀夫 | 2009 1P (D.2680) |

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

開館:午前10時~午後5時 休館日:土・日・祝日

電話 03-3433-6456 FAX03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

※上記申込先:

ロータリー文庫 (コピー/PDF)

第2550地区 ガバナー事務所・ガバナーエレクト事務所

〒320-0826 宇都宮市西原町142 宇都宮グランドホテル内 TEL:028-651-2550 FAX:028-651-2551

メールアドレス/m2550@agate.plala.or.jp

12・1月のロータリーレート/1\$=90円